

蕨 広報WARABI 7

2012/平成24年
わらび・732

- 平成24年7月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 6月1日現在人口：72,614人 前月比 +18人
男 36,936人 女 35,678人
世帯数：36,229
人口密度：14,238人/km²



キャンペーンに参加して筋肉モリモリ

「筋肉モリモリ」で体力アップ 目指せ！未来の五輪代表選手

楽しく運動に親しもうと、中央東小学校の児童は、年間を通じて、「筋肉モリモリキャンペーン」に取り組んでいます。6月6日から7月13日までは、うんてい、登り棒、鉄棒を使っての体力増進に挑戦中。27日開幕のロンドン五輪にも負けない盛り上がりを見せています。

——— 目 次 ———

- あったか市政着実に前進…2
- 地域で取り組む交通安全…4
- 歌声は世代を超えて………6
- リポートそこが知りたい…8
- 親と子のニュースの小窓…10
- わが家のアイドル………11
- 子どもクラブ………11
- 輝いています ひと………12

4



特別養護老人ホーム建設予定地(南町2丁目)

介護、健康づくり、障害者福祉など 誰もが安心して 暮らせる蕨へ

多くの市民の皆さんが望んでいる市内3か所目の特別養護老人ホームの整備を市内民間企業との協働で進めています。開設は平成27年4月の予定。

- 特別養護老人ホームの増設
- 75歳以上の「ぶらっとわらび」無料化
- 市立病院の経営改革と診療体制の拡充
- 高齢者の肺炎球菌ワクチンへの公費助成
- △ 障害者のグループホーム設置
- 一人暮らし高齢者の見守りや災害時の避難支援

高齢者に安心広がる施設誘致

愛着があり、住み慣れたまちでずっと生活したいと思っている人は多いはずです。南町に新たに特別養護老人ホームが出来ることはとても喜ばしいことですね。このような施設の充実、市民にとって安心感が広がります。

やぎぬま よしお
柳沼 義男さん
中央7丁目・70歳

子どもたちの明るい未来のために全力を尽くします

引き続き、市財政の健全化を進め 持続可能な都市・蕨へ

厳しい財政状況の中でも、さまざまな施策を取り組みながら、職員人件費などの経費を削減することで債務残高を減らしていき、市財政の健全化との両立を図ります。

- 市の借金総額を4年間で10億円以上削減
- 市の人件費を4年間で2億円以上削減
(借金総額は、この1年で約4.2億円減。人件費は昨年度約1.2億円減)
- 国、県の補助金の積極的活用
- 市の滞納債権回収の体制強化と収納率向上

3



認可保育園の増設で子育て支援の更なる充実

子育て支援、教育の充実など 子どもたちの 笑顔あふれる蕨へ

子どもたちの学習環境の改善に向け、小・中学校にエアコンを設置しました。また、来年4月の開園を目指して錦町に、民間認可保育園が整備されることになりました。

- 待機児童の解消に向け、認可保育園の増設
- 学童保育(留守家庭児童指導室)の時間延長
- 小・中学校へのエアコン設置
- 小学校全学年での35人程度学級実施
- 全小・中学校での学校図書充足率100%へ
- 子宮頸がんワクチンへの公費助成
- アウトメディア宣言で、青少年の健全育成推進
- △ 希望する児童を対象とした学校土曜塾の開設

認可保育園増設は子育て世代に朗報

来年4月の開園に向けて、錦町に民間認可保育園が増設されることは、仕事に復帰したいと考えている母親たちにとって朗報ですね。保育園か幼稚園の選択が増えるのはありがたいことです。今後、子育て世代に優しいまちづくりを進めていってほしいと思います。

はしもと あき
橋本 亜季さん
北町5丁目・30歳

多くの人が参加した今年の「クリーンわらび市民運動」

市民との協働を本格的に進め 心が通い合い、 みんなでつくる蕨へ

更なる地域活動への参加とにぎわいあるまちづくりを目的に、今年度から「クリーンわらび市民運動」の参加者へのポイント制度を開始しました。

- 市民参画協働のための条例制定
- 地域貢献活動に対するポイント制度導入
- ネットワークステーションをくるる1階に整備

特集

あったか市政着実に前進

市長マニフェスト実施状況
(全41項目)

● 実施済み	13項目
○ 一部実施・着手	23項目
△ 検討中	5項目
☆ 変更	0項目



子どもも大好きなわらびりんご

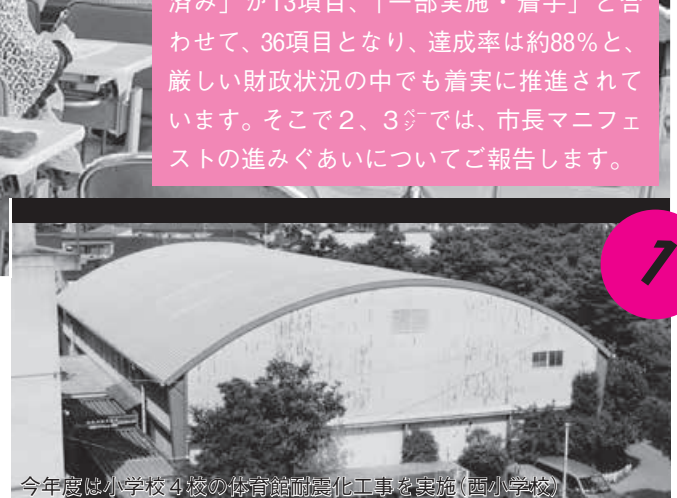
地域活性化、元気な商店街、 文化スポーツなど にぎわいと活力ある蕨へ

空き店舗有効活用事業を増額することで、より活気あふれる商店街にしていくとともに、わらびりんごを生かして、まちの魅力を高めていきます。

- 防災含め、地域密着型公共事業で地域活性化
- 中心市街地活性化計画の国の認定と本格的推進
- △ 蕨東西口のコミュニティ・ショッピング道路整備
- 空き店舗有効活用事業の実施
- 都市計画制度を活用し、防災や商店街活性化など中央第一地区の新たなまちづくりの推進
- 蕨駅西口第二、第三工区の「市負担の大幅削減」に向けた計画見直し
- 住宅リフォーム助成制度の拡充
- わらびりんごでロマンあるまちづくり推進
- △ 音楽によるまちづくりの推進
- △ 文化スポーツ施設のインターネット予約導入

協働で活気あふれる商店街を

塚越で長年、商売を営んでいます。空き店舗有効活用事業は、商店街を活気づける起爆剤になりますね。私も経営努力をしたり、イベントを開いたりしながら、行政と協力して、より元氣な商店街にしていきたいですね。

なかた ただよし
中田 忠義さん
塚越1丁目・69歳

今年度は小学校4校の体育館耐震化工事を実施(西小学校)

防災、防犯、環境、まちづくりなど 安全安心、環境に優しい蕨へ

子どもたちと地域の安全を最優先に考え、小・中学校の体育館の耐震化や大規模改修などを行うとともに、古い耐震基準で建てられた保育園の耐震診断を実施します。

- 全ての学校体育館の耐震化を4年間で完了
- 保育園や公民館など公共施設の耐震化促進
- 水道などライフラインの更なる強化
- 自主防災組織への支援強化
- LED防犯灯400基設置(取替え)
- 自主防犯組織への支援強化
- 蕨市内の犯罪発生件数を20%削減
- 家庭用太陽光発電に対する助成
- リサイクルフラワーセンターを活用したエコキャップと花いっぱい運動の拡大
- 錦町土地区画整理事業の促進

万一来災害に強いまちづくりを

災害時には避難所となる学校体育館の耐震化は、とても強いことです。昨年の大震災を機に、小学生の息子や近所の人たちなどと、防災に関する話題が増え、市民の意識も高まっていると思います。これからも災害に強いまちづくりを進めていってほしいです。

おがわ えつこ
小川 悦子さん
錦町6丁目・40歳



元気な挨拶を交わしながら、児童の安全な登校を見守る保護者(中山道本町通り)



▲無灯火ゼロの日にLEDライトを配布しながら、市民の皆さんに夜間点灯を呼びかけます

▼警察官による交通安全講話を聞く
高齢者クラブ・みずほ会の皆さん



交通安全指導員
くりはら まさかつ
栗原 正勝さん

交通安全教育は 大人がお手本に

子どもたちの安全を守ろうと、昭和40年に蕨交通青年隊に入り、以来、登校時に見守り活動を行ったり、交通安全教室で指導したりしています。学校や地域での教育もたいせつですが、家庭での教育が第一。まずは、大人がお手本にならないといけないでしょうね。そうすると、自然と子どもたちにも伝わっていきます。



さらに、子どもたちに正しい交通ルールやマナーを学んでもらおうと、模擬信号と横断歩道を使った交通安全教室は、小学校や保育園などで、年約20回開かれています。交通安全母の会や交通安全指導員などによる指導は、優しく分かりやすいと、定評があります。

安全対策をまちぐるみで
市では、市民の皆さんや関係団体などと協力して、日頃、どのような取り組みを行っているのでしょうか。
例えば、子どもたちの登校時の安全を確保しようと、交通安全指導員や保護者の皆さんなどが、事故発生率の高い朝の時間帯に合わせて、見守り活動を行っています。

みんなで守ろう自転車運転マナー

自転車安全利用五則

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外**
車道では、前後左右の車の動きに注意しましょう。
- 2 車道は左側を通行**
車道の左側に沿って走りましょう。
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行**
13歳未満の子どもと70歳以上の高齢者等は、歩道のある道路では歩道を通行することができます。歩行者の通行を妨げるおそれがあるときは、一時停止をしなければなりません。
- 4 安全ルールを守る**
 - 飲酒運転(二人乗り・並走の禁止)
 - 自転車も「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」を守りましょう。
 - 夜間はライトを点灯
 - 自転車 Helmets の着用
 - 安全運転の心がけ
- 5 子どもは、ヘルメットを着用**
 - 児童・幼児のみならず
 - 自転車に乗るときも、自転車に乗るときも、ヘルメットをかぶりましょう。
 - 児童・幼児のみならず
 - 児童・幼児は自転車に乗るときや、歩道・歩道で遊んでいるときに、ヘルメットをかぶらせましょう。

また、事故の被害者にも加害者にもなりやすいのが高齢者です。高齢者クラブや町会では、その現状を理解して、意欲的に勉強会を開いています。一方、市では、自転車事故が多いという問題の解消のため、6月10日を「無灯火ゼロの日」とし、街頭でLEDライトを配って、夜間点灯を呼びかけたり、自転車の無料点検をしたりと、啓発に努めています。

ルール守って事故防止を
市内での事故の特徴から、「自転車」「高齢者」「交差点」の事故防止を重点課題とする蕨市。特に自転車事故の死者割合は、昨年県内でワースト2位でした。自転車は便利な乗り物ですが、ルール違反などが原因で重大な事故につながる場合もあります。ルールを守り、安全運転を心がけましょう(左開み参照)。

市では、今後も地域の皆さんと協力しながら交通事故のないまちを目指していきます。

特集 地域で取り組む 交通安全

交通事故のない まちを目指して



「横断歩道を渡るときは、右手を上げて」と指導を受ける園児たち(たんぽぽ保育園)

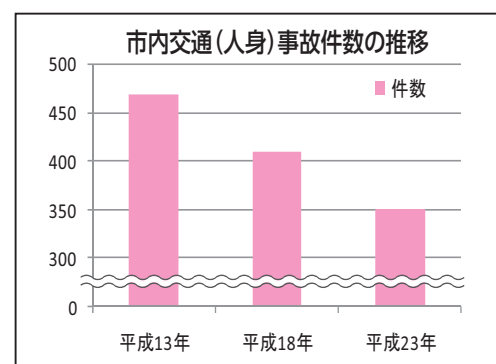
市内交通(人身)事故 発生件数(5月末現在)	
平成24年	117件
平成23年	133件
増減	-16件
増減率	-12%

今年に入ってから、交通死亡事故ゼロが続いている蕨市(6月25日現在)。多くの方が悲しむ事故をなくそうという、まちをあげての活動が実を結んでいます。そこでここ4、5分では、蕨市内の交通事故の発生状況や地域で取り組んでいる交通安全対策などについてご紹介します。

交通死亡事故ゼロ更新中

ほんの一瞬の出来事で尊い命が奪われたり、けがをしたったりする交通事故。全国的に後を絶ちません。

蕨市内においては、どうなっているのでしょうか。右グラフを御覧ください。10年前の平成13年に468件(うち死者2人)あった交通(人身)事故は、23年は349件(同2人)と119件減少しています。昨年の状況を見ると、事故死傷者の割合として、車が31・5%、自転車38・7%、歩行者が13・4%と自転車事故が多いのが蕨市の特徴です。市では、交通事故をなくし、安全で安心して暮らせるまち



連携深めて更に安全なまちを

車あまり通らない道が多い蕨では「車が来ないだろう」との思い込みから事故が起きる場合があるので、気をつけてください。事故件数が年々減っているのは、市民や関係団体の皆さんによる活動の成果と考えられます。15日から24日までの夏の交通安全運動期間も皆さんと協力して、事故防止活動を進めていきます。



蕨警察署交通課
おおわだ やすひろ
大和田 康浩 課長

にしようとして平成18年に県内の「交通安全条例」を制定したり、道路診断などを行ったりしてきました。また、市民の皆さんや交通安全母の会、交通安全指導員協議会、交通安全協会などの関係団体、事業者、警察と一体となり、交通事故防止対策を進めてきました。そのような取り組みによって、今年は、5月末現在の交通(人身)事故の件数が117件と、昨年同時期に比べ、16件減少(上表参照)。更に交通死亡事故もゼロが続いています。



▲生徒たちのみごとなハーモニーに
入所者の皆さんも思わずうっとり

▶懐かしい歌の数々に、いつの間
に客席から歌声が聴こえる場面も

▼施設内には中学生と入所者の皆さ
んの触れ合いが広がっていました



最後は涙のお別れ。歌が心と心をつないでくれました

感謝をこめて歌いたい 皆さんが伝えてくれた歌 ～第一中学校音楽部 i n 蕨サンクチュアリ～

世界に引き込んでいました。
終演後には、入所者の皆さんとの交流を深める光景も。
「ありがとう」と、お互いに感

謝の気持ちを伝え、再会を誓い合いました。いつの時代にも愛されてきた歌が、またこの場所に響きわたるように。

子どもの頃に歌い、親しんだ歌。それは、いつ聴いても心に響く、かけがえのないものではないでしょうか。特別養護老人ホーム蕨サンクチュアリの入所者の皆さんにとっても歌は元気の源の一つです。そんな皆さんにすてきな歌声をプレゼントしようと、6月16日に同施設を訪れたのは、合唱で県内有数の実績を誇る第一中学校音楽部の生徒28人。施設を慰問してのコンサート

は初めての経験ですが、お年寄りに楽しんでもらいたいと、4月から、毎日約2時間の練習を重ねてきました。
コンサートでは、古くから歌い継がれてきた歌を中心に、全10曲を披露。来場した118人を、その美しい歌声と豊かな表現力で彩られた合唱の

特集：歌声は世代を超えて



◀豊かな表情が印象的です。合唱にはすてきな笑顔が欠かせませんね

▼篠崎先生(指揮)の指導の下、一丸となって活動に取り組んでいます



第一中学校音楽部
合唱コンサート
i n 蕨サンクチュアリ
発表曲
1. 花
2. 夏の思い出
3. 浜辺の歌
4. 赤とんぼ
5. 花の街
6. おんがく
7. ファイト
8. 見上げてごらん夜の星を
9. 上を向いて歩こう
10. ふるさと



ソー・ムッサさん

セネガル
錦町5丁目・37歳

この まちに 暮らして

セネガルの北東部・マタム出身のムッサさんは、日本の文化や産業に強い関心を抱き、18歳のときに単身で来日。現在はシステムエンジニアとして忙しい日々を送ります。家族3人で2年前から蕨で暮らしているムッサさんは、娘の怜良ちゃんを

保育園に送ったり、近所の魚屋に買い物に行ったりと、すっかり地域になじんでいる様子。外で優しく声をかけてくれる地域のかたとの触れ合いは、心が落ち着くそうです。「この先も、ずっと蕨で暮らしていきたいです」と笑顔で話してくれました。

この数な～に 63.1%

15分以上運動した人の参加率を自治体どうして競う「チャレンジデー」が5月30日に行われました。3回目の参戦となる蕨市の対戦相手は愛知県碧南市。まち全体で健康づくりに取り組もうと、早朝から行われたさまざまな催しに多くの人が参加。皆さんのご協力により、参加者45,733人、参加率**63.1%**と碧南市の45.4%を上回り、みごと勝利を飾りました。健康づくりへの関心を高めるとともに、翌31日から1週間、碧南市役所のメインポールに蕨市旗が掲げられ、蕨のアピールにも成功しました。

▼**蕨中東カンフークラブ** 火曜日 午後5時 市民体育館 土曜日 午前10時 中央東小学校 月3,000円 5歳以上 初心者歓迎 長塚・090・5754・8925
▼**CLAP&TAPS** (ゴスペル) 月2回木曜日 午前10時半 福祉・児童センター1ほか 月3,000円 小野寺・080・5073・8724
▼**実用書道クラブ** 第1・3火曜日 午後1時半 下蕨公民館 月2,000円 (教材費別) 高橋・0432・3280
▼**スプリット** (社交ダンス) 金曜日 午後7時半 福祉・児童センター1 回1,000円 八石塚・0433・5275
▼**(参加しませんが)** イキキ健康講座「腸を元気に免疫力を高める食事と運動」29日 午前10時 市民会館 3,000円 平田・044・2222
▼**ダンスパーティー** 7日・21日・26日 午後1時 文化ホール くるる 4,990円 犬塚・041・7373
▼**日帰り旅倶楽部** 10月13日 徳川譜代大名の城下町古河・武家屋敷巡り 11月10日 東京レトロ商店街ぶらり旅 戸越銀座巡りと品川まち歩き 各回1,000円 説明会あり 八岩本・090・3431・4295
▼**(ご相談ください)** 蕨断酒会(酒害相談) 3日 中央公民館 11日 南公民館 19日 旭町公民館 午後7時 岡田・041・3172

申請はお早めに



レポート そこが知りたい

〈82〉

温暖化対策設備の設置に補助金

先月4日からスタートした「地球温暖化対策設備等設置費補助金」制度。今月は、太陽光発電システムなどを住まいに設置する際に補助するこの制度の概要について、市民リポーターの鎌田未緒さんが、生活環境係を訪れ、お聞きしました。

市民リポーター
鎌田 未緒さん

テムや、ガスを燃料として発電を行い、排熱を給湯などに利用する設備(通称・エコウィル、エネファーム)など、6つの設備を住まいに設置、または当該設備が設置された市内の新築戸建住宅を購入し居住する場合に補助する制度です(下表参照)。

Q 国や県からの補助も受けられますか。
A 太陽光発電システムの場合、国や県にも補助制度があり、併せて受けることも可能です。ただし、申請方法や予算額などが異なりますので、それぞれの担当部署へ、必ずご確認ください。

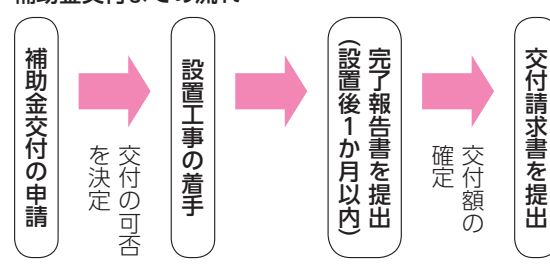
Q 太陽光発電システムなどの設置に補助が出るそうですが、どんな制度なのでしょう。
A はい。市では、地球温暖化対策の一環として、自然エネルギーの有効活用を促進していくこと、「地球温暖化対策設備等設置費補助金」を今年度新設し、その受付を先月4日から開始しています。地球温暖化対策設備とは、太陽光発電シ

Q 申請すれば必ず補助がもらえるのですか。
A 予算に限りがあります。すので、予算額に達ししだい受付は終了となります。なお、予算は前期・後期に分け250万円ずつを計上しています。設置を予定している人は、

表 対象となる設備と補助額

設 備	補 助 額
①太陽光発電システム	10万円
②太陽熱温水器(自然循環型)	5万円
③太陽熱温水器(強制循環型)	5万円
④ガスエンジン給湯器(通称名 エコウィル)	5万円
⑤家庭用燃料電池装置(通称名 エネファーム)	5万円
⑥雨水貯留施設	設置費の2分の1で5万円が上限

補助金交付までの流れ



Q これらを設置すると、なぜ、地球温暖化対策につながるのですか。
A 地球温暖化の一因とされる二酸化炭素(以下CO₂)の排出を抑えることができるからです。例えば、太陽光発電システム(3.5kw)を設置した場合、年間約1200kwhのCO₂削減効果が見込まれるほか、家庭で消費されるエネルギーの約3割を占める給湯器を、効率のよい物に切り替えることで、CO₂の排出量を抑えることができ、地球温暖化対策に有効だと考えています。

Q 地球温暖化対策は、一人ひとりの取り組みが重要なんですね。
A はい。温暖化対策設備を設置する以外にも、ごみの減量や節電など、身近な取り組みはたくさんあります。エコキヤップ運動や生ごみ堆肥化など、既に多くの皆さんにご参加いただいています。これからの環境に優しいまちづくりに、ご協力をお願いします。



市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。
今月は5日、8月は2日です。
時間は午後1時～5時を予定
しています。
ご希望のかたは秘書広報課
(☎433・7701)へ

2期目がスタートして1年余りが経過しましたが、市民の皆さんのご協力により、2期目のマニフェスト「新あったかプラン」も着実に前進しています。

防災対策では、地域の避難所にもなる学校体育館の耐震化と大規模改修を2年間で完了させることとし、今年度から工事が始まります。介護の分野では、民間企業との協働により、市内3か所目

ほっと・エッセイ 51

2期目のマニフェスト
「新あったかプラン」も着実に前進

市長 頼高英雄

の特別養護老人ホームの整備に向けて動き出しています。子育て支援では、民間認可保育園の整備が、来年4月の開園を目指して進められることになりました。また、6月3日のクリーンわらび市民運動から、「くらしの商品券」(50らく)の配布も始まり、町会をはじめとする地域活動の発展と商店街の活性化が期待されます。

一方、市財政の健全化についても、23年度において人件費は前年度比で約1億2000万円減少し、借金残高も、この1年間で約4億2000万円削減することができました。

今後とも、マニフェストを着実に推進し、日本一のあったか市政を目指して全力でがんばってまいります(項目は2、3ページ)。



子どもクラブ

福祉・児童センター

はじいて広がる友達の輪

「オニム」です。チップを指ではじき、90度四方の木製コートの中央に並べた得点チップをコーナーに落とす得点を競います。福祉・児童センターで10年以上親しまれているこのゲームは、玉筋を見極める集中力と判断力が試されます。そして、いつしか自分たちで遊び方を考えて楽しむ姿も。はじき方を工夫したり、チップを積み上げてダルマ落としのように遊んだり、発想力は尽きません。指先からはじけるチップと笑顔。その勢いは梅雨空も吹き飛ばしそうです。

わが家のアイドル

—483—

「外遊びが大好きな泰基は自分の靴を玄関に並べて、にっこりしながら私の支度ができるのを待っています。そんな泰基のお気に入りには砂場遊び。作ってあげた砂山を頭から砂をかぶるくらい夢中になって崩すのを楽しんでいます。」と母親の梨江さん。

き 泰基ちゃん
(1歳6か月)

まつだ おし 松田 剛さん
りえ 梨江さんの
長男
中央6丁目

いい イーッ!

かるた DE アンチエイジング

蕨市立病院 柴田 優子 医師

楽しいこと、悲しいことの経験やそれを思い出すことで顔の表情も同じように変わります。かわいい子猫を見て、ほほえ

ましくなったり。映画を見て泣いたり。感じたことは脳で認識され、顔の筋肉が動き、表情として表れます。

これはその逆。「イーッ!」と口を動かして笑った顔にしてみてください。このときは、楽しいことを体験していても、脳では楽しくて笑ったときと同じ反応が起こっています。正に「笑う門には福来る」ですね。試してみてもいいかがでしょうか。

柴田医師のアンチエイジング外来は金曜日午後。詳細は市立病院ホームページで

暑い日は涼みませんか 「クールオアシス蕨」 公共施設で実施中

暑さが厳しい今月から9月30日まで、市では、熱中症対策や家庭での節電の一環として、公共施設のロビーなどを一時休憩や緊急避難場所として開放しています。猛暑日は、「クールオアシス蕨」をうまく利用しながら、こまめに水分補給をしてください。

親と子の ニュースの 小窓



実施施設は入口のポスターが目印

猛暑時の休憩や緊急避難にご利用を

ワラビ うゝ、外は暑い。ちょっと休みたい。
お母さん じゃあ、ここで休みましょう。
ワラビ わゝい、つてこは、中央公民館じゃん。
お母さん どお、涼しいでしょ。題して「クールオアシス蕨」。熱中症対策や家庭での節電の一環として、今月から9月30日まで公共施設のロビーなどを一時休憩や猛暑時の緊急避難場所として、市民に開放しているのよ。
ワラビ へえ、だから中央公民館のロビーには椅子がたくさんあるんだね。
職員 こんにちは。外は暑いですからね。ゆつくり涼んでいてください。ワラビ おじゃましてます。ところで、クールオアシス蕨では、熱中症予防の

アシス蕨は、他にどんな所にあるの?
職員 公民館の他にも、市役所や福祉・児童センターなど13施設で実施しています(下表参照)。実施設には入口にポスターが貼ってあるんですよ。ワラビ なるほど。

職員 特に各公民館では、空き部屋を子どもたちの学習の場として開放したり、夏休み期間中は、工作や実験などさまざまな子ども教室を企画したりしています(詳細はお知らせ版8ページ参照)。
ワラビ 楽しそうだね。
職員 ぜひ、遊びに来てください。日中の気温のピーク時を公共施設で過ごすことで、家庭での節電にもつながりますから。対応が遅れがちになって

—「クールオアシス蕨」実施施設—

市役所、福祉・児童センター、図書館、保健センター、交流プラザさくら、市民会館、7公民館(詳細は下段)	
中央公民館	◆スタディールーム：9月14日まで 午前9時～午後6時 小学生以上 談話コーナーを開放 ◆ちびっこプール：9日～8月30日 午前10時～午後4時 中庭 親子(未就学児) ◆涼み亭：19日～8月30日の木曜日 午前9時～午後5時 成人、親子(未就学児) 和室を開放 ※土・日・祝日・月末除く その他 同館・市民会館ロビーを開放
東公民館	◆ファミリー映画会：8月6日・22日 午後2時 幼児～小学生 ◆夏休み子ども勉強部屋：8月20日～31日の平日 午前9時～午後3時 小・中学生 団体連絡室を開放
西公民館	◆すたでいる～む：26日～8月30日の火曜日 午前9時～午後4時、木曜日 午後1時～4時 小学生～高校生 団体連絡室を開放 ※その他 卓球無料開放、映画会などあり
南公民館	◆ピアノの生演奏でみんなで楽しく歌いませんか!：8月8日 午後1時半 童謡・唱歌など 直接会場へ
北町公民館	◆図書ラウンジ：平日午前9時～午後5時 ◆みんなのお家：子ども向けに空き部屋を開放 日程は同館
下蔵公民館	◆見た目も涼しい?!下蔵クールスポット：30日～8月24日 エコ風鈴などを飾ったロビーを提供 ◆すまいるば〜く：講座室を開放 日程は同館
旭町公民館	◆まちのクールオアシス：30日～8月27日の月曜日 午後1時～5時 小学生 和室を開放

しまうのね。室内や夜間でも注意が必要だって。ワラビ 部屋の温度をこまめに測ったり、寝る前や、喉が渴いてなくても意識的に水分を取りましよう、だって。

職員 周りの人たちも、高齢者への気配りがたいせつですね。ワラビ 気をつけます。

職員 暑さが厳しくなる時期です。外出時は帽子や日傘などで直射日光を避けて、暑いと感じたら、気軽にクールオアシス蕨で涼んでください。
お母さん こまめな水分補給もね。
ワラビ うん。じゃあ、早速、ジュース買って。お母さん もう。

輝いています

ジュニアリーダー会「ミルキーウェイ」会長

ひと

なか むら ゆめの
中村 夢乃 さん

笑顔広がる夏の思い出に



キャンプへの思いを語る中村さん

西

小の児童が野外にテントを張り、食事作りやキャンプファイヤーを楽しみながら、夏の一夜を過ごす「西小学校3年生一泊キャンプ」。今月の14日・15日に行われるこの催しは、今回で30周年を迎える地域の伝統行事となっています。「絆を深め、かけがえない思い出作りの場にしたい」と話すのは、キャンプの企画・運営を中心となつて進めるジュニアリーダー会「ミルキーウェイ」会長の中村夢乃さん（16歳・錦町6丁目）。高校2年生。今年度から会長となり、卒業生ら15人のメンバーを引っ張ります。中学生の頃から会の一員として地域活動に携わっている

中村さんが、活動に興味を持ったのは、自身も参加したキャンプでの経験がきっかけです。何事も協力し合つて取り組んだキャンプは、ふだん接することのなかった同級生と関わることでできる絶好の機会に。キャンプが終わる頃には、みんな笑顔で、自然と「友達の輪」が広がっていたそうです。そんな自身の経験を「少しでも多くの子どもたちに伝えたい」との思いから、活動への参加を心に決めました。

活動を通して、年齢を問わずたくさんの人と関わってきたことで、みずから積極的に行動する力が身についたという中村さん。「以前は、おとなしくて引つ込み思案な性格でした」と、自身を大きく成長させてくれた会の存在には、とても感謝していると話します。現在、目前に迫ったキャンプの準備のため、メンバーと忙しい日々を送る中村さん。「学校が終わった後に集まるのは大変。でも、小学生の喜ぶ姿を想像すれば苦になりません」と前向きです。「楽しんでもらうためには、私たちも楽しむ姿勢を大事にしたい」と、意気込む姿は、30年の歴史にまた一つ、明るいページが加わることを予感させます。

中仙道蔵宿

400周年

蔵宿と明治天皇

No.3



一宮御幸之図（岡田民雄氏 所蔵）

明治天皇が蔵本陣でご休憩されたのは、明治元年（1868）と、同3年（1870）、大宮氷川神社へ行幸（天皇が外出すること）されたときです。

当時の様子を知る貴重な資料が岡田本陣家に残されています。それが掛軸「一宮御幸之図」（左写真）。描いたのは、行幸の様子を見た地元の絵師・藤村琢堂で

す。当時の蔵宿の様子を、岡田家に伝わるお話からご紹介します。

「明治元年10月27日、蔵で初となる行幸を見ようと、近郷近在から人が集まり、蔵宿は始まって以来のたいへんな人出でした。江戸時代の將軍通行の際は、民家は戸を締め、2階など目張りをして、前日から煙を立てることさえ禁じられたそうですが、行幸には特に禁制はなく、民家も通常どおり商売が許されたので蔵宿の人々は『將軍様ときは恐れおののいたが、天朝様はまるでお祭りだ』と喜びました。また、軍楽隊のラッパは、封建社会から解放され、勇み立つような気分浸らせたそうです」。

全国各地を行幸された明治天皇ですが、その様子を描いた絵はほとんどなく、更に、この掛軸は、当時の蔵本陣の外観が分かる、唯一の資料としても貴重な物です。なお、岡田家のご厚意により、掛軸は秋の歴史民俗資料館特別展で公開されます。